

令和 7 年 12 月 22 日  
西日本高速道路株式会社

お知らせ

## E1A 新名神高速道路 八幡京田辺 JCT・IC～高槻 JCT・IC 間の 建設工事において発生した杭打ち機転倒事故の原因について

NEXCO 西日本関西支社(大阪府茨木市、支社長:諸富 もろどみ まさかず 正和)が実施している E1A 新名神高速道路 八幡京田辺 しんめいしんこうそくどうろ やわたきょうたなべ ジャンクション(JCT)・インターチェンジ(IC)～高槻 たかつき JCT・IC 間の建設事業(工事名:新名神高速道路 枚方トンネル工事)におきまして、「[E1A 新名神高速道路 八幡京田辺 JCT・IC～高槻 JCT・IC 間の建設工事における杭打ち機転倒事故について](#)」でお知らせしましたとおり、令和 6 年 9 月 26 日(木曜)午前 9 時 15 分頃に建設工事現場から杭打ち機が転倒し、府道 735 号線の歩道をふさぐ事故を発生させました。

事故の発生以降、事故原因究明のために、有識者のご助言をいただきながらこれまで現地で行ってきた調査結果についてお知らせいたします。なお、今後当該工事の再開にあたっては、事故の原因を踏まえた対応策について検討したうえで行います。

地域住民の皆さまおよび歩道をご利用される皆さまには多大なるご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げますとともに、同様の事故が発生しないよう再発防止に努めてまいります。

### 1. 事故発生概要

概要については、別紙のとおり

### 2. 事故後の調査

調査内容については、別紙のとおり

### 3. 発生原因

原因については、別紙のとおり

### 4. 今後の対応

今後の対応については、別紙のとおり

### 5. 対象工事

換気所構築部の仮設構造物用の杭打ち作業

### 6. 工事施工者

清水建設(株)・(株)竹中土木・東亜建設工業(株)特定建設工事共同企業体

## 7. お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、NEXCO 西日本 新名神大阪東事務所をお願いいたします。

NEXCO 西日本 新名神大阪東事務所 Tel 072-809-4740 (平日 9 時 00 分～17 時 00 分)

平日(17 時 00 分～翌朝 9 時 00 分)、土曜、日曜、祝日でのお問い合わせは以下をお願いいたします。

NEXCO 西日本 お客様センター(年中無休・24 時間受付)

 **0120-924863** (クルマでおでかけ24時間ハローさん)

※ IP電話等一部の電話からはフリーダイヤルがご利用できない場合があります。

その場合は、 **06-6876-9031** (通話料有料)

電話番号をよくお確かめのうえ、お掛けください。

※本件の詳細情報に関するお問い合わせについては、担当部署をご案内する場合がございます。

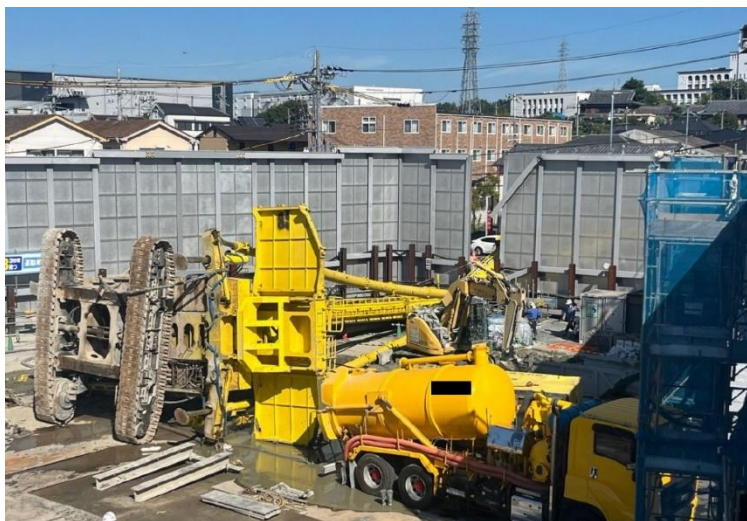
## 1. 事故発生概要

令和6年9月26日午前9時15分頃、「新名神高速道路 枚方トンネル工事(清水建設(株)・(株)竹中土木・東亜建設工業(株)特定建設工事共同企業体)」において、換気所建設予定箇所で、杭打ち機にて地下約28m付近の掘削作業を実施していたところ、杭打ち機が前方にバランスを崩し、府道735号線の歩道をふさぐ形で転倒し、約10時間の歩道通行止めとなった。

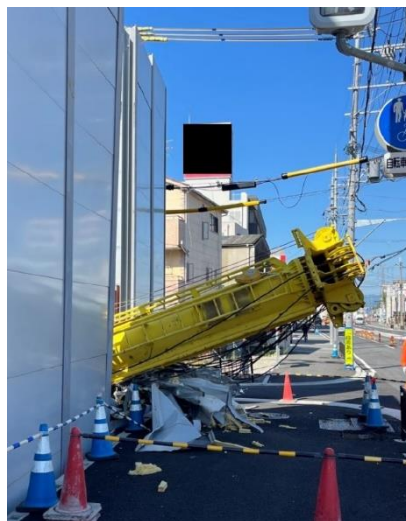
〔位置図〕



〔杭打ち機転倒状況〕



現場ヤード内



歩道部



## 2. 事故後の調査

### 当時の作業状況

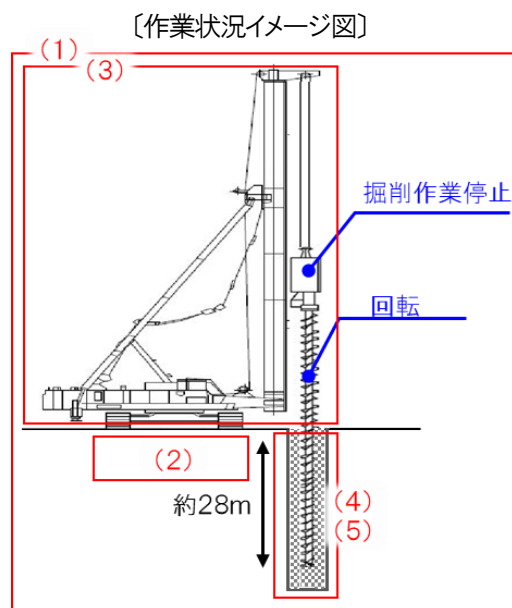
杭打ち機は転倒時、掘削作業を停止し、スクリーだけが回転している状態であった。

#### (1) 施工方法の確認

掘削対象地盤が砂礫・粘性土で構成されていることや、上空に架空線などの制限がないことから、従来使用されている杭打ち機を適切に選定し、施工手順どおりに作業をしていたことを確認した。

#### (2) 施工基盤の確認

杭打ち機を設置していた位置の地耐力、地面の平坦性及び変状の有無について確認したが、必要な地耐力を満足しており、陥没等の変状も生じていないことを確認した。



〔敷鉄板撤去前〕



〔敷鉄板撤去後〕



#### (3) 杭打ち機の異常の有無の確認

転倒前の杭打ち機の点検は適切に実施されており、記録等を確認したが機械の異常は認められなかった。

なお、上記(1)～(3)等の内容を労働基準監督署に報告し、法令違反は認められないことを確認している。

#### (4) 転倒に至る荷重条件の確認

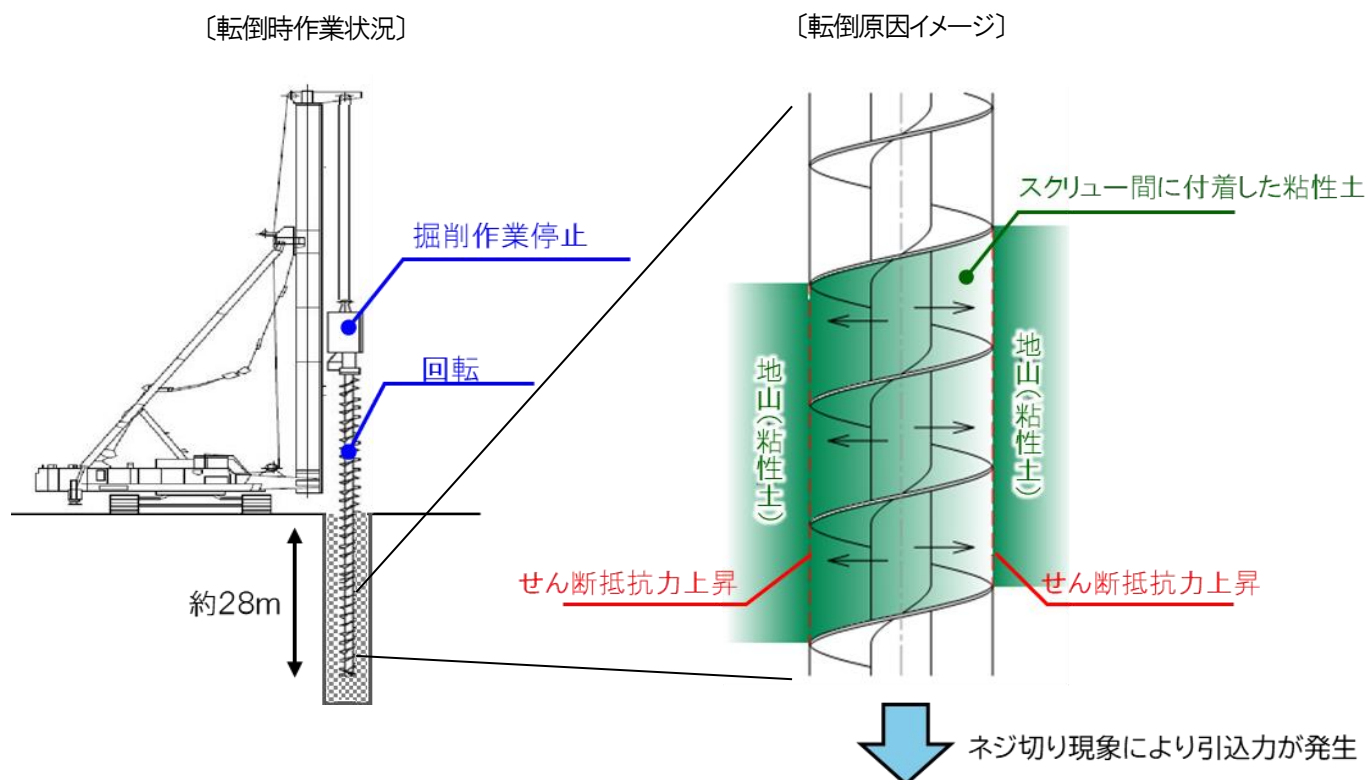
力学計算より、杭打ち機のスクリー部に約47tの追加荷重が発生した場合に、杭打ち機が転倒に至る可能性があることを確認した。また杭打ち機のスクリーが拘束された場合には、スクリーの回転力により地中方向へ最大60tの力が生じる可能性があることを確認した。

#### (5) 土質調査・土質試験の実施

現地盤より採取した試料で室内試験を実施した結果、含水比が低く、杭打ち機が転倒に至る拘束力を生じさせるようなせん断抵抗力を持つ硬質な粘性土(大阪層群 Ma4 層)であることを確認した。

### 3. 発生原因

弊社は有識者のご助言をいただき、事故発生時の状況および各種調査結果に基づき原因を分析した結果、掘削作業によってスクリーに付着した粘性土が地山(粘性土)と固着しせん断抵抗力が上昇したことにより、スクリーが拘束され、スクリーの回転と共に地中に引き込まれるネジ切り現象が生じ、杭打ち機が転倒に至ったものと考えている。



### 4. 今後の対応

当該箇所の工事の再開にあたっては、有識者のご助言をいただきながら、事故の原因を踏まえた対応策について検討したうえで行います。